



令和5年10月10日14時00分  
近畿地方整備局  
紀の川ダム統合管理事務所

## 大滝ダム10周年記念行事 11月19日開催 ～水源地川上村が生み出す ダム・水・未来～

大滝ダム管理開始10周年という節目を記念し、「ダムとダム水源地のこれから」や、「大滝ダムが果たしてきた役割」、「ダム水源地川上村の魅力」を未来を担うみなさんに伝えていくとともに、継続的な湖面活用と持続的な地域振興に繋げていくことをみなさんと考える機会として、10周年記念行事を開催します。

- 開催日時 令和5年11月19日(日) 10:00～12:30 (メイン会場)  
14:00～19:30 (サテライト会場)
- 開催場所 ○メイン会場:やまぶきホール(奈良県吉野郡川上村大字迫1374-2)  
(第1部) 管理開始10周年記念式典  
(第2部) パネルディスカッション「湖面活用による今後の地域振興の展望」  
**※メイン会場来場者には、「大滝ダム 10th・黒部ダム 60th 合同周年記念ダムカード」等をプレゼント。(会場の席数には限りがあります。)**  
  
○サテライト会場:大滝ダム(奈良県吉野郡川上村大滝)  
11/11(土)大滝ダム見学会 10:00～、ライトアップ17:30～、終了19:30  
11/19(日)大滝ダム見学会 14:00～、ライトアップ17:30～、終了19:30  
  
※メイン会場、サテライト会場ともに入場無料・申込不要です。詳細は別紙チラシをご覧ください。
- 主催 大滝ダム10周年アニバーサリープロジェクト実行委員会  
(紀の川ダム統合管理事務所、川上村)
- 取材 報道関係者で取材を希望される方は11月2日(木)までに別紙「取材申込書」にてメールでお申し込み下さい。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、  
奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ  
和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所  
副所長 沖津 洋一(おきつ よういち)(内線202)  
電話 0747-25-3013(代表)

## 「大滝ダム10周年アニバーサリープロジェクト」 取材申込書

取材を希望される方の「氏名（ふりがな）・ご所属（会社名）・電話番号・メールアドレスをメール本文に記載のうえ、11月2日(木)までに下記のアドレスまで送信して下さい。

※件名に、「大滝ダム10周年取材」と記載して下さい。

**メールアドレス：kkr-otayori-kinoto@gxb.mlit.go.jp**

ふりがな ※必須			
お名前 ※必須			
ご所属（会社名） ※必須			
ご連絡先（TEL） ※必須			
ご連絡先（メールアドレス） ※必須			
ご同行者	ふりがな		
	お名前		
開催日	場所	内容	希望日に○
11月11日（土）	サテライト会場	ダム見学会・ライトアップ	
11月19日（日）	メイン会場	10周年記念式典	
11月19日（日）	サテライト会場	ダム見学会・ライトアップ	

### 【備考】

- お手数ではございますが、メール送信後、受信確認のため下記の【受信確認先】までご連絡下さい。

### 【受信確認先】

近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 総務課 TEL：0747-25-3013

入場  
無料  
予約不要

大滝ダム10周年  
アニバーサリープロジェクト

大滝ダム管理開始  
Anniversary  
10<sup>th</sup>

水源地 川上村 が 生 み 出 す

# ダム水未来

川上総合センター  
やまぶきホール  
無料駐車場有

豊かな森が育む、豊かな水  
過去から学び「ダム・水源地」の未来を想う



第1部

## 水源地の活動紹介・報告

プレゼンター 尾上 忠大 / “かわかみ源流グループ” 統括

未来を担う児童からの手紙

感謝の言葉

やまぶきホールロビーにて

学ぶ  
パネル展

第27回 大滝ダム  
「ダム見学新聞」コンクール  
入賞作品特別展示

Theme

## 「湖面活用による今後の地域振興の展望」

第2部

映像放映

Part I 未来をうつす～水源地の村の思い～

Part II パネルディスカッション

コーディネーター

石田 紗英子 / フリーキャスター

パネリスト

竹村 公太郎 / 特定非営利活動法人日本水フォーラム代表理事

栗山 忠昭 / 奈良県川上村長・大滝ダム活用促進協議会会長

内山 りゅう / ネイチャー・フォトグラファー

中川 靖志 / 国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所長



おおたき龍神湖

2023  
11.19 日

10:00 ▶ 12:30 雨天決行  
(開場 9:00)

ご来場者に記念品をプレゼント!

吉野杉の  
らんちゅう箸



DVD  
第2部 Part I  
映像収録

自由入場

少雨決行・荒天中止

大滝ダム特別見学

11/11(土) 11/19(日)  
10:00~19:30 14:00~19:30

無料

通常は入ることができないダム直下の広場まで入場可能。記念撮影におすすめのスポットです。

大滝ダムライトアップ

11/11(土) 11/19(日)  
17:30~19:30 17:30~19:30

無料

近畿最大級の大きさを誇る大滝ダムの幻想的でダイナミックな姿を間近で見ることができます。

サテライト  
イベント



最新のイベント  
情報はこちら



QRは裏面に記載

主催 / 大滝ダム10周年アニバーサリープロジェクト実行委員会

後援 / 奈良県 和歌山県 関西電力株式会社

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 ☎0747-25-3013(代) / 奈良県 川上村役場 ☎0746-52-0111(代)

## 開催目的

大滝ダム管理開始10周年という節目の年を記念し、ダムとダム水源地のこれからの考え、「大滝ダムが果たしてきた役割」や「ダム水源地川上村の魅力」を、未来を担う方々に伝えていくとともに、継続的な湖面活用を図り、持続的な地域振興に繋げていくことを皆で考えます。

### プログラム

会場 / 9:00 開場 川上総合センター やまぶきホール

※当日内容や時間の変更など発生する場合があります。

第1部

- 10:00 開会  
開会挨拶  
来賓祝辞  
祝電披露  
水源地の活動紹介・報告  
未来を担う児童からの手紙  
感謝の言葉
- 11:00 第1部終了



11月19日(日)9時より会場受付にてご来場の方に記念品をお配りします。  
※会場の席数には限りがあります。

### 休憩

テーマ

- 11:15 【湖面活用による今後の地域振興の展望】

- ▼ Part I: 映像放映  
未来をうつす～水源地の村の思い～
- ▼ Part II: パネルディスカッション
- 閉会挨拶
- 12:30 第2部終了 / 閉会

第2部

### 登壇者紹介

第1部 / 水源地の活動紹介・報告

プレゼンター



**尾上 忠大** “かわかみ源流グループ” 統括

2002年の開設時から森と水の源流館の運営にかかわる。公益財団法人吉野川紀の川源流物語事務局長として、流域連携や環境学習の活動を牽引。

第2部 / パネルディスカッション

コーディネーター



**石田 紗英子** フリーキャスター / 元日本航空(株)客室乗務員

奈良県出身。経済番組や情報番組等、様々なメディアにレギュラー出演し、数百名のインタビューを担当、執筆や講演も行う。一児の母。



**竹村 公太郎** 特定非営利活動法人 日本水フォーラム代表理事

東北大学工学部土木工学科修士課程修了。同年、建設省入省。主にダム・河川事業を担当し、近畿地方建設局長、河川局長等を歴任。

パネリスト



**栗山 忠昭** 奈良県川上村長・大滝ダム活用促進協議会会長

奈良県川上村出身。県立吉野林業高等学校卒業後、川上村役場奉職。ホテル杉の湯支配人、産業振興課長、収入役、副村長を経て現職。3期目。



**内山 りゅう** ネイチャー・フォトグラファー

東海大学海洋学部水産学科卒業。水に関わる生き物とその環境の撮影、特に淡水にこだわり、図鑑や写真集などを精力的に発表する。



**中川 靖志** 国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所長

大阪工業大学工学部土木学科卒業。同年、建設省入省。主にダム、河川事業を担当し、近畿地方整備局地域河川調整官を経て現職。

水源地 川上村 が生み出す

# ダム水未来

11.19日 9:00-13:30

同日開催

場所 やまぶきホールロビー

## 展示

無料

大滝ダムを学ぶパネル展

第27回 大滝ダム「ダム見学新聞」コンクール 入賞作品特別展示

日時は各イベントにより異なります。

サテライトイベント

場所 大滝ダム及びダムサイト

大滝ダム特別見学

11/11(土) ▶ 10:00-19:30  
11/19(日) ▶ 14:00-19:30

対象 現地来場者

費用 無料

大滝ダムライトアップ

11/11(土) ▶ 17:30-19:30  
11/19(日) ▶ 17:30-19:30

対象 現地来場者

費用 無料

自由入場

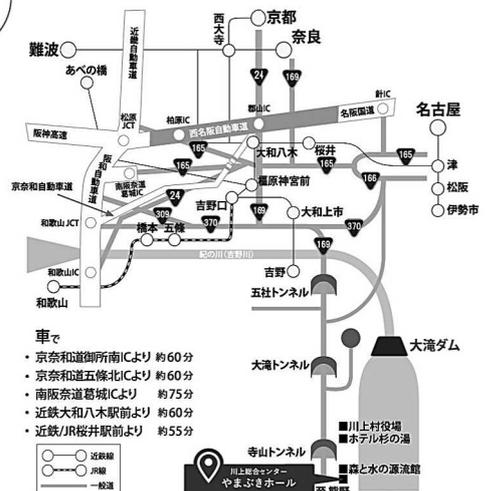
少雨決行・荒天中止

## 川上村 イベント

ご案内

- 11/5(日) ▶ 山幸彦まつり / ふれあいまつり
- 11/12(日) ▶ ONSEN ガストロノミーウォーキング / スポーツガストロノミー
- 11/23(木)～26(日)の4日間(全日10時～17時) ▶ 山のふえすた(匠の祭)
- ▶ 詳しくは公式サイトをチェック

## 会場



公式サイト【大滝ダム10周年アニバーサリープロジェクト】

<https://otakidam-10th-ap.jp/>

会場ナビ

川上総合センター やまぶきホール

〒639-3553 奈良県吉野郡川上村迫 590-1 ☎0746-52-0144

(このチラシに関するお問い合わせは、表紙下部に記載の番号へ)



《所在地》

奈良県吉野郡川上村大滝

《諸元》

ダム形式	重力式コンクリート
ダムの高さ	100m
ダムの長さ	315m
ダムの堤体積	1,030 千 m <sup>3</sup>
湛水面積	2.51km <sup>2</sup>
総貯水容量	84,000 千 m <sup>3</sup>



■事業の主な経緯

- 昭和34年 9月 伊勢湾台風 紀の川流域内で甚大な被害
- 昭和35年 4月 予備調査開始
- 昭和37年 4月 実施計画調査開始
- 昭和40年 4月 建設事業着手、紀の川水系工事実施基本計画策定
- 昭和63年12月 大滝ダム工事に着手
- 平成14年 8月 大滝ダム本体コンクリート打設完了
- 平成15年 3月 試験湛水開始
- 平成15年 4月 白屋地区に亀裂現象発生
- 平成15年 5月 試験湛水中断
- 平成17年12月 白屋地区地すべり対策工事に着手
- 平成20年 8月 迫地区地すべり対策工事着手
- 平成20年 9月 大滝地区地すべり対策工事着手
- 平成21年 2月 白屋地区地すべり対策工事が完成
- 平成23年 3月 迫地区地すべり対策工事が完成
- 平成23年11月 大滝地区地すべり対策工事が完成
- 平成23年12月 試験湛水再開
- 平成24年 6月 試験湛水完了
- 平成25年 3月 大滝ダム竣工
- 平成25年 4月 大滝ダム本運用開始



昭和34年（伊勢湾台風状況） 奈良県吉野郡吉野町上市付近



昭和57年 和歌山県直川地区付近

大滝ダムは、洪水調節、水道用水・工業用水の供給、発電、流水の正常な機能の維持を目的とする多目的ダムです。洪水被害を最小限に食い止め、クリーンな水力発電を行い、奈良県・和歌山県の暮らしを支えています。

洪水調節(F)

下流の河道の整備状況から、当面最大1,200m<sup>3</sup>/sの防災操作を行い、下流における洪水被害の軽減を行い、治水安全度を向上。

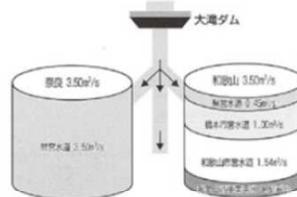


防災操作を実施する大滝ダム

水道用水・工業用水の供給(WI)

奈良県、和歌山県、和歌山市、橋本市に対して水道用水、和歌山市に対して工業用水として水を供給。

(大滝ダムにおける利水流量分配図)



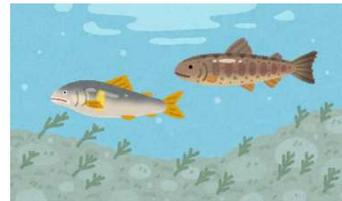
発電(P)

大滝ダムからの河川水補給を利用し、直下の関西電力(株)大滝発電所において、最大出力10,500kWの発電に利用される水を供給。



流水の正常な機能の維持(N)

雨の少ない時期(非洪水期:10/16~翌6/15)に、川に棲む生物や川が本来持っている環境に影響が出ないように下流に向けて放流することで川が持っている環境を保全。



平成30年度

- 台風20号に伴う豪雨により紀の川流域では、8月22日から24日にかけて、流域平均の総雨量が394.5mm、時間最大雨量が55mm(大台ヶ原雨量観測所)となり、大滝ダムへの流入量が約2,000m<sup>3</sup>/s(大滝ダム管理開始以降第3位)を記録。
- 大滝ダムでは、約1,100万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流の紀の川の水位を五條地点(五條市新町付近)で約1.0m、三谷地点(かつらぎ町三谷付近)では約0.7m低下させる効果があったと推定。

五條地点(大滝ダムから下流40km地点)



大滝ダムの防災操作図

